

# 平成23年度高鍋町事務事業評価表

## ◎事務事業の概要

事務事業名	乳幼児医療費助成事業			基本目標	医療体制の整備		
担当課(局)・係	健康福祉課	子ども支援係	記入者	佐藤 留美	評価者	井上 敏郎	開始年度 S49 年度
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください						
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)					

## ◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を) 高鍋町に住所を有する6歳に達する日以後の最初の3月31日までの乳幼児 意図・目的 乳幼児期における疾病等の治療を容易にし、乳幼児の福祉の向上と健全な発育の促進を図る							
事業の内容	対象者が保険証と乳幼児医療受給資格者証を医療機関に提示することにより、自己負担額が医療機関1件当たり一月350円(調剤薬局においては自己負担なし)で診療を受けることができる。ただし、県外の医療機関を受診した場合は、いったん2割分自己負担した後で償還払。							
主な支出項目	22年度決算額	34,319	千円	23年度予算額	34,594	千円	事業従事者数 H22 0.18 人 H23 0.33 人	
	扶助費	32,767	千円	国庫支出金		千円	22年度人件費 1,295 千円	
	役務費	1,551	千円	県支出金	17,102	千円	23年度人件費 2,355 千円	
			千円	地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23) 50.6 %	
			千円	一般財源	17,492	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください	
		千円			千円	高鍋町乳幼児医療助成に関する条例・施行規則		
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名				
	補助交付団体			補助金要綱				
	22年度	補助額	#N/A	円	補助の形態	#N/A	23年度補助額	円 終期 年度
		団体の決算額	#N/A	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等			
		補助の割合	#N/A	%				
繰越額		#N/A	円					

## ◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 町負担金額	一部負担金(2割)から高額療養費、付加給付費、自己負担額を差し引いたもの
	2 県補助金額	補助基準額の1/2を交付。県の補助基準により、町負担額の1/2とはならない。
	3 受給者数	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 助成件数	
	2	
	3	

## ◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度
成果指標	町負担金額	目標値			
		実績値	円	33,993,677	34,319,237
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	県補助金額	目標値			
		実績値	円	13,169,000	14,639,000
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
受給者数	目標値				
	実績値	人	1,295	1,333	
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	助成件数	目標値	件		
		実績値		16,985	18,579
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!

事務事業名	乳幼児医療費助成事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	
		自己評価	委員評価
(必要性)	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
	◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有効性	◎目標に対して成果は得られているか	2	-
	◎すでに目的は達成されていないか	1	-
効率性	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	2	-
協働性	◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等)	0	-
合計(最高18点)		15	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公益性)	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		-
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか		-
	◎町民の理解が得られる事業であるか		-
合計(最高4点)		0	-
その他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	今後の方向性	コスト			
		廃止	縮小	現状維持	拡充
◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	本制度の実施により、医療費がかさむ就学前の児童を持つ家庭の負担軽減を図ることにより、子育て支援を行う。「子どもがにぎわうまちづくり」に繋がるものであり、継続すべきであると思料する。			○	

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	※評価対象として馴染まない、という意見があったため、次回以降要検討。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	